

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。

The following presentation slides are shared with symposium registrants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.

- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。

Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). Authorized recipients should refrain from reproducing, reprinting, distributing, transmitting, broadcasting, loaning, translating, selling, modifying, or creating derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.

2023年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム  
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター  
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9～17時)

2023 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)

2023年3月4日  
福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム

# ヘルスリテラシーの推進： 福島から世界へ



後藤あや  
福島県立医科大学総合科学教育研究センター  
放射線医学県民健康管理センター

IAEA consultancy meetings in 2022, ICRP 2021+1, 日本学術会議「災害と健康」での発表を改訂

# 福島から発信するヘルスリテラシー

ヘルスリテラシー

個人と組織の力

専門家の育成

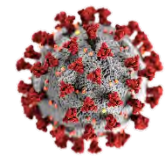
専門家対象のヘルスリテラシー研修

地域住民の育成

クリエイティブヘルス学校健康教育

新たな健康危機

学校教員と連携した健康情報の作成



# 公衆衛生医と保健師

地域  
集団



公衆衛生医  
保健師



データ

治療としての健康情報



保健政策  
保健活動  
サービス向上

# 母親の心配

| 2012年<br>18か月児健康診査                     | うつ傾向の<br>母親の割合<br>n=274 |
|----------------------------------------|-------------------------|
| 家族間で放射線に対する<br>考え方が食い違い悩む<br>いいえ<br>はい | 8%<br>20%               |

p=0.02 (カイ2乗検定)

うつ傾向は二質問法によるスクリーニング

Journal of Communication in Healthcare 2014; 7: 106-116.



# 保健師対象の放射線 などに関する出前講座



## 話し合いの記録

- ❖ 地域住民への情報伝達の役割を担う
- ❖ コミュニケーション技術の向上が必要

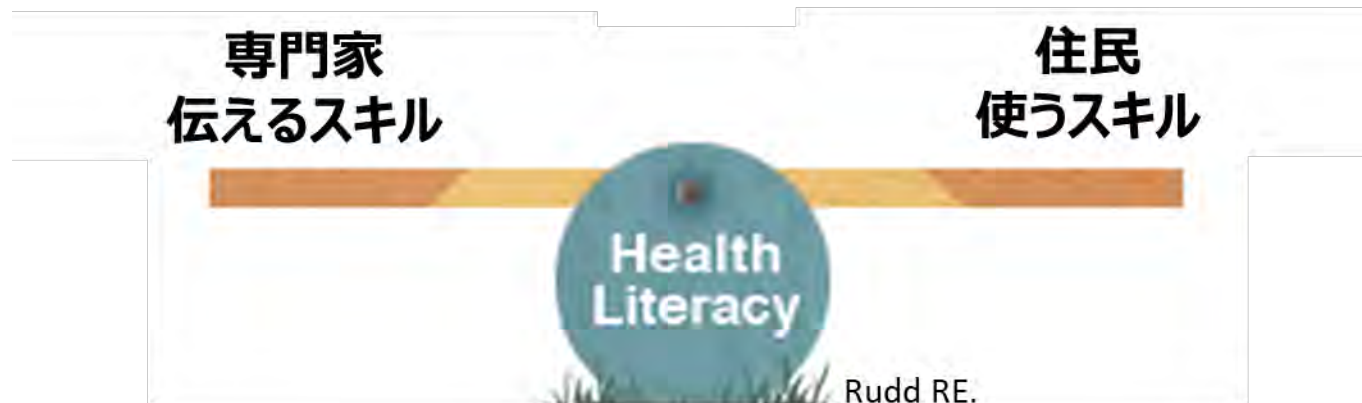
「国は言ってるのではなく、「私は、こう考えています。」と自分の学習結果を伝える。話し手も当事者というスタンスで望む。」

BMC Health Services Research. 2014; 14: 129.

# ヘルスリテラシー

世界保健機関 WHO, 1998年

「健康の維持向上のために情報を得て、理解し、  
使おうとする知識と技術」



NEW

## 組織的ヘルスリテラシー

健康に関する意思決定や行動のために必要な情報を見つけ、理解し、使えることを、公平に支援する。

(米国ヘルシーピープル 2030)





専門家  
伝えるスキル

住民  
使うスキル



Rudd RE.

# ヘルスリテラシー研修

Rudd RE. Assessing health materials: Eliminating barriers – increasing access. 2010.  
<http://www.hsph.harvard.edu/healthliteracy/>

分かりやすさを  
評価する方法

分かりやすく  
改訂する方法

実践

ポイント

## ❖ 文章

専門用語を避ける、5-8年生レベルで、等

## ❖ 図表



ピクトグラム、インフォグラフィクス

## ❖ 読者のニーズの把握

マーカー法



= 読者が分かりにくいと思うところをマーカーしてもらう



Japan Medical Association Journal. 2015; 58: 1-9. Journal of Health Communication. 2018; 2: 200-206.

# 研修評価：参加と実践応用

- 2011年から2019年までに、福島県内保健師の25%（4人に1人）が修了した。
- 1年後評価において、半分の参加者が学んだスキルを日常業務で活用していた。

「老人クラブの集まりで運動について話と体操をした時、学んだ技術を意識してパンフレット作成をした。伝えたいことも明確にできて進行がスムーズにできた。」



Japan Medical Association Journal. 2015; 58: 1-9.

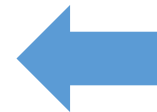
Journal of Seizon and Life Sciences. 2016; 27: 191-207.

International Journal of Disaster Risk Reduction. 2022; 67: 102694.

# 研修評価:スキルの向上

- 参加者は、地域住民との双方向性のコミュニケーションに前向きな姿勢をもつようになり、
- 自身のコミュニケーション技術について自信が向上した。

参加した保健師では、  
住民から得られる意見  
への満足度が2倍高い



Health Communication. 2020; 35: 1274-1282.

International Journal of Disaster Risk Reduction. 2022; 67: 102694.

## 研修評価：住民による評価

- 高齢者や医療サービスに馴染みのない住民ほど、研修参加者が改訂した健康情報が分かりやすいと評価した。

Annals of ICRP. 2021; 50: 167-173.

### ヘルスリテラシー研修は...

1. 住民と専門家のコミュニケーションを促進し、
2. 健康情報へのアクセスをより公平なものとする  
ことが示唆された。

# 研修の拡大

- 専門家：助産師、栄養士、学校事務、防災士、放射線相談員、家庭裁判所調査官、等
- 学生：医学部、看護学部、等

## 医学部1年次の科学リテラシー「ヘルスリテラシー」演習

ヘルスリテラシーについての文献を読む

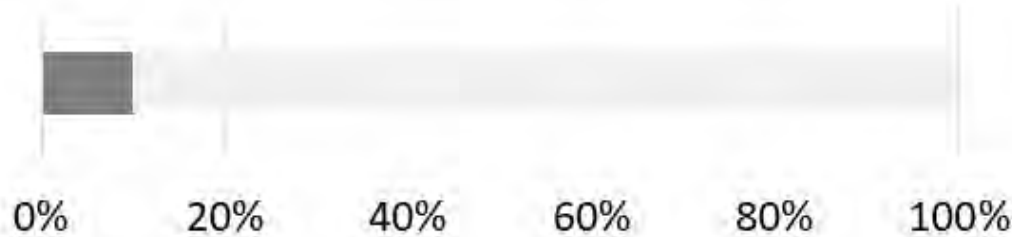
文献と同様のアンケート調査（データ提示の方法とリスク認知の関連）を学生同士で実施

データの分析と解釈

他のグループの学生と合同発表会、レポート作成

Fukushima Medical Journal. 2019; 69: 77-83.

# 50歳女性が乳がんになる生涯リスクを、 グラフとピクトグラムで提示して比較



- 性別関係なく好まれる
- ヘルスリテラシーが低い人に信頼される
- 女性においてより正確なリスク認知(※)につながる  
(※自動車事故で死亡するより乳がんになるリスクの方が高い)

International Journal of Environmental Research and Public Health. 2022; 19: 4690.

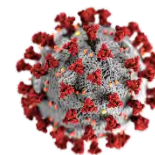


- 海外の専門家：留学生、JICA研修生、等





# 福島県外保健師向けのオンライン研修



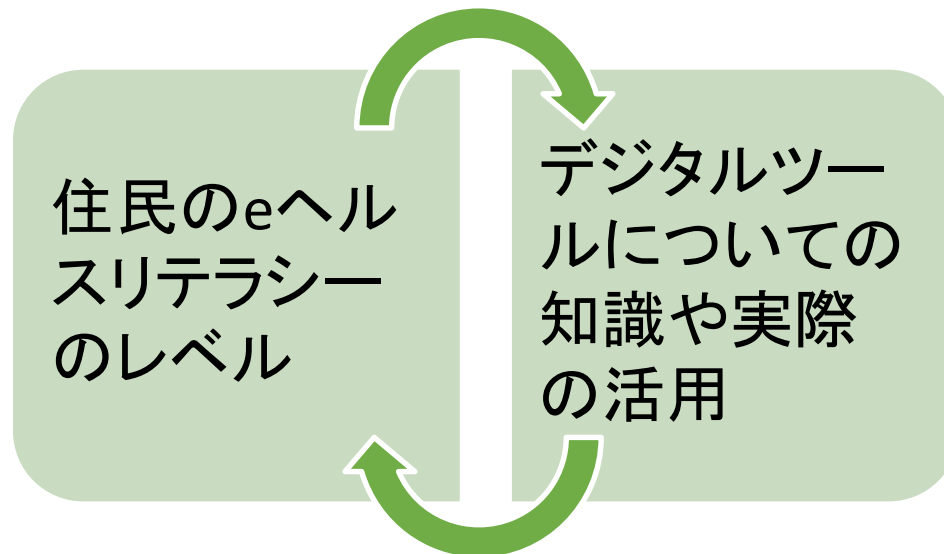
- 県保健福祉課主催
- 2021年12月
- 参加者42人（保健師、事務職員、等）
- 受講後アンケートにて、80%以上がすぐに業務で使えると回答した。
- 具体的には、コロナの患者対応に使える、同僚と共有したい、そして、相手の立場に立って活動する大切さを改めて認識した等の記載があった。

NEW

## eヘルスリテラシー

# 電子媒体の情報を健康増進に使う力

Norman, C.D.; Skinner, H.A. eHealth literacy. J Med Internet Res. 2006; 8: e9.



Yumiya Y, et al. User-guided design of a digital tool for health promotion and radiation protection. Int J Environ Res Public Health 2021; 18: 12007.

専門家  
伝えるスキル

住民  
使うスキル



Rudd RE.



# 小学校の児童との活動



## ヘルスリテラシーの指針

1. 健康情報は難しいので、分かりやすい言葉で説明する
2. 健康情報に関する数値のデータも難しいので注意する
3. **対象者と協力して情報をつくり、伝える**

### Commentary

Open

ARTICLE PDF PUBREADER ePUB REFERENCES

Twitter Facebook Download

J Glob Health Sci. 2020 Jun;2(1):e6. English.

Published online May 14, 2020. <https://doi.org/10.35500/jghs.2020.2.e6>

© 2020 Korean Society of Global Health.

## Communicating health information with the public: lessons learned post disaster

Aya Goto 



## クリエイティブヘルス授業について

授業への参加ありがとうございます!

この授業では、ゲストティーチャーにみなさんが、「健康」について考えていることや、これまで経験したことについて教えてください。このプロジェクトには、3つのワークショップがあります。  
(学校によっては、どれか1つか2つだけになります。)



### からだ BODY

みんなで話しながら、  
体や心の働きに  
ついて学びます



### たべもの FOOD

料理して、食べて、  
食べ物に  
ついて考えます



### つたえる ACT

体や声を使って、住んでいる  
ところと食べ物について  
表現します



# クリエイティブ ヘルス

## 先生のための「クリエイティブ・ヘルス」 授業プランと発表会

"Creative Health" for teachers:  
Lesson plans and students presentation





# 事業目標

仲間との協働、発言、意見交換、発表を通じて、子どもの科学的・創造的思考を促す。

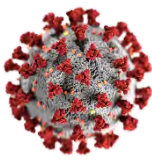
# 事業評価

県内のモデル校2校での評価の結果...

- 子どもたちは、意見交換や発表、測定、学んだ事に関連性を見出すこと、そして仲間と協力する活動を楽しみ、
- 参加した後は、自分の健康や地域の食べ物をよりポジティブに捉えるようになった。



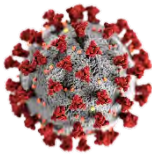
# クリエイティブヘルスの海外向けオンライン指導者研修 インドネシア、カンボジア、ルワンダでも開始



Igaku no Ayumi. 2022; 282: 1159-1162.



# インドネシアの小学校での実施



## 児童

活動が楽しかった。演劇で、食べ物の作り方を習った。

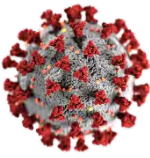
## 保護者

子どもが学校でのこの活動について楽しそうに話してくれました。

## 教員

児童が伝えてくれる色々な意見を受け止めることを学びました。  
児童が自分自身の能力に気が付くことができました。

# 学校教員と健康情報を作る



**みんなでコロナをやっつけろ！**

**ウイルスをながす**  
手を洗う

**ウイルスをつけない**  
家にいる

**つばをとばさない**  
マスクする  
せき・くしゃみは  
ひじでカバー！

**心配だよ**  
この新しい病気はわからないことだらけ。みんな不安です。でも「あの人を介してからコロナ？」。「あそこでコロナでたみたい」とか、うわさを作らないように。変なうわさを気にしないように。心配つくらないで、みんなでやっつけよう！  
参考: 日本赤十字社「新型コロナウイルスの謎の解明」

**ご家族へ**  
ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。「みんなでコロナウイルスをやっつけろ！」作戦についてわかります。  
藤田医科大学感染症科  
「コロナウイルスってなんだろう？」  
<http://www.fujita-hu.ac.jp/microb/>

**学校の先生へ**  
日本心理学会  
「新型コロナウイルスについて」  
<http://www.gakkooshinri.jp/ps/>

編集: 福島県立医科大学・郡山女子大学・聖広済聖大学合同クリエイティブ  
作図: 荒山洋平  
助成: 科学研究費助成事業(共同研究)強化(基) 19K00000  
提供先: 福島県立医科大学総合科学教育研究センター 後援: 赤や・cgc

**どこでも冒険ワーク**  
Adventures at Home, Learning about Life

ニュートンが学生の時も病気が流行って、ずっと家にいなければいけない時期(1665-1666)がありました。ニュートンはたくさん本を読んで、身の回りのことについて研究しました。  
みんなもやってみよう！

**いただきます！**

- 一番最近のお家での食事について思い出してください。食事はどうやって用意しますか？
- 食事を用意するのに必要な道具は何ですか？

**ワーク**

- 食事の絵を紙の真ん中にかいて、まわりにはその食事に関係する人や物をかいてみよう。
- 食べ物はどこでつくられて、どう加工される？
- 食べ物をみんなはどこで手に入れる？だれが料理する？

■ 炊飯器を使ってご飯のほかに何がつくれるかな？

**勉強しよう！**

- どこで勉強しますか？その場所は勉強しやすいですか？
- コロナで勉強の仕方は変わりましたか？
- この生活の変化は好きですか？嫌いですか？どうしてですか？

**ワーク**

みんながどうしたら学校や家で勉強しやすくなるか、学校や教育委員会に手紙を書いてみよう。

Creative Health Team  
Fukushima Medical University - Koriyama Women's University - Kagoshima University - Lancaster University  
(Kenneth E Nolle, Alison Lloyd Williams, Satsuki Katsumi) JSPS KAKENHI JP19K00000

## ワークの例 呼吸の量の測り方を考える

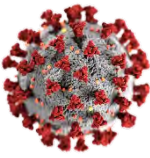


## 食事を作る過程に関わる人達について考える





# 他の国の事例との比較



## みんなでコロナをやっつけろ!

20秒  
ウイルスを  
ながす  
手を洗う

ウイルスを  
つけない  
家にいる

つばを  
とばさない  
マスクする  
せき・くしゃみは  
ひじでカバー!

**心配だね**

この新しい病気はわからないことだらけ。  
みんな不安です。  
でも「あの人を半信半疑からコロナ?」。  
「あそこでコロナでたみたい」とか、  
うわさを作らないように。  
変なうわさを気にしないように。  
心配つくらないで、みんなでやっつけよう!

参考: 日本赤十字社「新型コロナウイルスの噂の真相」

**ご家族へ**

ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。  
「みんなでコロナウイルスをやっつけろ!」  
作戦についてわかります。

藤田医科大学感染症科  
「コロナウイルスってなんだろう?」  
<http://www.fujita-hu.ac.jp/~microb/>

**学校の先生へ**

日本心理学会  
「新型コロナウイルス」  
<http://www.jps.or.jp/>

編者: 福山県立医科大学・福山女子大学・福山大学合同クリエイティブ  
作編: 児山洋平  
助成: 科学研究費助成共同研究強化(基) 19K00050  
編集: 福山県立医科大学総合科学教育研究センター 佐藤あや・山

## COVID-19 VOICI COMMENT VOUS PROTÉGER ET PROTÉGER LES AUTRES

1  
Toussez et éternuez dans le creux du coude

2  
Gardez la distance avec les autres

3  
Portez régulièrement un masque

4  
Lavez-vous les mains avec de l'eau et du savon bien et souvent

5  
Ou désinfectez-vous les mains avec une solution hydroalcoolique

6  
Ne serrez pas la main

7  
Évitez les déplacements inutiles

8  
Ne crachez pas par terre

EN CAS DE FIÈVRE ET/OU TOUX, OU DE DIFFICULTÉS À RESPIRER, APPELEZ LE NUMÉRO 3535 OU 01608989 ET SUIVEZ LES INSTRUCTIONS DONNÉES

1. 文化・習慣に配慮して、視覚的な資料を作成する
2. 作成した情報を迅速に伝える
3. 平時の信頼関係に基づいて活動する

# よりよい復興（ビルド・バック・ベター）



福島から始まったヘルスリテラシー推進の取り組みは、ヘルスリテラシーの二本柱を強化する活動として、国境を越え、さらには、地域の信頼関係とデジタルツールを活用した健康危機管理にもつながった。

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。

The following presentation slides are shared with symposium registrants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.

- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。

Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). Authorized recipients should refrain from reproducing, reprinting, distributing, transmitting, broadcasting, loaning, translating, selling, modifying, or creating derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.

2023年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム  
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター  
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9～17時)

2023 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)